

SR-M610AP1 V20.09 変更内容一覧

□ 機能追加・改善内容

No.	項目	内容
1	スマートワイヤレスマネージャ機能改善	<p>スマートワイヤレスマネージャ機能にて、以下の機能を改善した。</p> <p>1)SSID設定改善 同一SSID名を複数登録可能とし、APグループ毎にVLANなど設定内容の異なるSSIDを選択可能とした。</p> <p>2)AP個別設定改善 以下の項目をAP毎に設置環境などに合わせて個別の設定を可能とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランプ消灯機能</li> <li>・使用アンテナ(内蔵、外付け)</li> <li>・使用チャンネル</li> <li>・無線送信出力</li> </ul> <p>3)屋外動作モード対応 APグループ設定で屋外設置用のグループ設定を可能とした。</p> <p>4)セキュリティ機能改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・MACアドレス認証機能改善 PAP認証を可能とした。</li> <li>・NAS識別子対応 RADIUSサーバへ送信する認証パケットに、以下をNAS識別子として設定可能とした。</li> <li>・AP名(sysname)</li> <li>・IPアドレス</li> <li>・SSID(※MACアドレス認証/802.1X認証時のみ)</li> </ul>
2	RADIUSクライアント機能改善	MACアドレス認証およびIEEE802.1X認証利用時に、SSIDをNAS識別子に設定可能とした。
3	無線LAN機能改善	エンタープライズ認証を使用して本装置に接続する際、一部の無線端末において初回接続時の認証動作中に一度切断が発生することで数秒の遅延が発生する場合があった、この事象を改善した。
4	無線LAN機能改善	OPEN認証と共通鍵認証利用時に、MACアドレス認証機能を使用可能に改善した。 但し、認証サーバから通知されたVLAN IDを端末に割り当てる動作は使用不可。 ※CLI運用モードのみ(Web運用モードでは、将来提供予定)

□ 修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V20.03 ~ V20.08 エンタープライズ認証利用時	エンタープライズ認証利用時、SSID内のある無線端末が再認証すると他の無線端末が一時的に通信できなくなる場合がある。
2	V20.03 ~ V20.08 SNTPサーバ機能利用時	SNTPサーバ機能と時刻提供サーバとの時刻同期(クライアント)設定を同時に利用すると、時刻提供サーバによってはSNTPによる時刻同期ができない場合がある。また、この時刻同期できていない状況においては、本装置を時刻提供サーバとするクライアントへ時刻提供ができない。
3	V20.07 ~ V20.08 Nxconciergeエージェント機能利用時	NXconcierge連携にて管理ポータルとの通信にProxyサーバを利用する構成において、ProxyサーバのIDまたはパスワードに特定の記号を含むとProxyサーバの認証が失敗となり管理ポータルへログインできない場合がある。
4	V20.03 ~ V20.08 deleteコマンド利用時	deleteコマンドにて構成定義を削除して動的反映しても、構成定義は削除されるが削除前の動作が継続する場合がある。